

2009年度

科目名	図書館概論		
担当教員	前川 和子		
配当	文 1・教育1・人間1	コード	54680
開期	前期	講時	金曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	図書館とはなにか。図書館を多面的にとらえ、私たちの生活に無くてはならない図書館の理解を深める。		
目的と概要	学生にとり図書館は、レポート、論文作成、教養や知的好奇心を満たす、無くてはならない場所である。また市民にとっても公立図書館は、様々な情報要求にこたえる場所として必要不可欠な存在である。このような図書館についての館種、関連法規、図書館政策などは、図書館司書課程の基礎として、あるいは学生の教養として知っておかねばならない。図書館を取り巻く現在の問題についても解説する。		
成績評価法	各回の小レポート、期末試験をあわせて、評価する。		
テキスト	図書館概論 四訂版(JLA図書館情報学テキストシリーズ;1)/塩見昇/日本図書館協会		
参考書	図書館学概論(新図書館学シリーズ;1)/前島重方ほか/樹村房		
履修に当たっての注意・助言	身近に存在しているが、図書館は守り育てるべき機関であることを、認識できるようになっていただきたい。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館の意義: 私たちにとって図書館とは何か 2. 図書館の法的基盤: 図書館の種類ごとに法的基盤は異なる。図書館法、図書館関係法規 3. 図書館政策 4. 図書館の種類を知る(1) 国立国会図書館: 日本の国立図書館は1館 5. 図書館の種類を知る(2) 公立図書館1: 公共図書館と呼ばれている。その意味は。 6. 図書館の種類を知る(3) 公立図書館2: 市民の情報の窓口 7. 図書館の種類を知る(4) 学校図書館: 教育課程と密接な関係を持つ図書館 8. 図書館の種類を知る(5) 大学図書館: 研究図書館、学術図書館、とも呼ばれる。 9. 図書館の種類を知る(6) 専門図書館: ある専門分野のみの資料・情報を提供 10. 公立図書館を巡る問題(1) 戦後の歴史 11. 公立図書館を巡る問題(2) 文庫活動、住民運動 12. 図書館を育てたひとびと: アメリカの場合 13. 図書館関係団体: 図書館協会、図書館関係学術団体 14. 海外の図書館: アメリカ、イギリス、中国など 15. まとめ 			